



貴賤をわく人の長を可く
 通る所をくさるるの疾病
 多り而して世良醫は得
 事甚難く貧賤之憐れ
 民有疾を治す難きを
 口を塞ぎ乃脚を耳無く
 して其根を治すの大抵
 の其根を治すの丸を用
 するに重んずるべきを
 秘傳せしむるを以て
 有切無害に良劑十數方を
 撰定せしむるを以て
 此の丸を以て用ふれば
 自ある病も切果して著
 しく信用して後日之を
 守るに明治十一年秋東北
 臨河の時疫民疾乃を
 賜蒙るるに由り
 上天より仁に此の丸を
 惟く感得せしむるに
 生るる一切の疾を治す
 我免るる若くは少く
 命也
 明治十一年八月
 四五位勲二等松本順元

